



# TBS

## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月4日

上場会社名 株式会社TBSホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略局長 (氏名) 小杉 尚 TEL 03-3746-1111  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	238,223	△11.6	12,170	5.3	21,076	4.4	32,472	162.5
2020年3月期第3四半期	269,331	△2.0	11,559	△27.5	20,193	△22.9	12,371	△28.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 146,117百万円 (81.1%) 2020年3月期第3四半期 80,677百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	190.05	—
2020年3月期第3四半期	70.98	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	995,058	729,935	72.0
2020年3月期	783,024	591,931	73.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 716,282百万円 2020年3月期 578,361百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	321,400	△9.9	8,500	△35.1	16,500	△22.4	28,500	△5.6	166.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	174,709,837株	2020年3月期	174,709,837株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,940,152株	2020年3月期	2,388,826株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	170,860,937株	2020年3月期3Q	174,298,833株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(株)TBSテレビ第3四半期事業収入の内訳	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いております。輸出や個人消費に持ち直しの動きがみられるものの、感染者数の拡大に伴い、その動きに足踏みがみられるなど、先行きについては予断を許さない状況にあります。

テレビ広告市況でも多くの業種で景況が悪化しており、スポット広告費の関東地区投下量は、第3四半期に回復したものの、累計では前年同期比18.9%減と大変厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、タイム・スポット収入の大幅な減収、またイベントの中止、延期、入場制限による規模縮小などにより、2,382億2千3百万円(前年同期比11.6%減)となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、番組制作費や広告代理店手数料の減少などにより、2,260億5千3百万円(前年同期比12.3%減)となりました。

この結果、営業利益は121億7千万円(前年同期比5.3%増)となりました。また、経常利益210億7千6百万円(同4.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は324億7千2百万円(同162.5%増)となりました。

## ◇メディア・コンテンツ事業セグメント

メディア・コンテンツ事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,846億3千3百万円(前年同期比8.9%減)、営業利益は、50億2千9百万円(同82.8%増)となりました。

(株)TBSテレビのテレビ部門の当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、138億6千5百万円減収の1,224億4千5百万円(前年同期比10.2%減)となりました。このうち、タイム収入が594億6千万円(同10.0%減)、スポット収入が488億5千1百万円(同17.0%減)、国内番販や無料動画配信での広告収入を含むコンテンツ収入が112億7千4百万円(同40.6%増)となりました。タイム収入については、11月に「マスターズ」が開催されるなど、スポーツイベントが一部再開されましたが、全体を通しては依然として中止・延期の影響は大きく、前年度の「世界陸上2019 ドーハ」の反動に加え、レギュラーセールスも低調に推移したことにより減収となりました。スポットセールスについては、5局シェアは0.4ポイント改善しましたが、広告主による関東地区投下量の前年同期比18.9%減が大きく影響し、大幅な減収となりました。コンテンツ収入につきましては巣ごもり需要を背景に、ドラマを中心としたコンテンツ配信が大きく伸長し、無料動画配信収入(前年同期比49%増)、ParaviなどのSVOD配信収入(同94%増)共に大幅な増収となりました。

(株)TBSテレビの事業部門の当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、53億8百万円減収の137億8千万円(前年同期比27.8%減)となりました。

催事・興行では、新型コロナウイルス感染症対策のための入場制限を継続したため、大幅な減収となりました。映画事業においては「糸」がロングラン公開となりましたが、前年同期の収入規模には至らず大幅な減収となりました。海外事業では、アジア市場を中心に市況の改善の動きが一部でみられるものの、依然として厳しい市況が続いており減収となりました。メディア事業は、CS事業が各プラットフォームからのチャンネル単価の改善のため増収となりました。また、ライセンス事業も、ショッピング番組が好調であったことに加え、DVDの販売やヒットドラマの関連商品の売り上げが貢献し、増収となりました。

(株)BS-TBSの当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、野球・ゴルフ中継などのスポーツ番組の休止によるタイム収入の減収が大きく、11億8千4百万円減収の114億7千7百万円(前年同期比9.4%減)となりました。

(株)TBSラジオの当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、厳しいラジオ広告市況の中、イベント開催の自粛の影響を受け、9億7千6百万円減収の61億5千7百万円(前年同期比13.7%減)となりました。

費用面において、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う番組収録の中止や延期による制作費の大幅な減少に加え、事業部門もイベント・公演中止により費用が減少しました。

以上の結果、同セグメントにおける営業利益は22億7千8百万円増益となる50億2千9百万円(前年同期比82.8%増)となりました。

## ◇ライフスタイル事業セグメント

ライフスタイル事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は、416億2千万円(前年同期比23.3%減)、営業利益は8億5千6百万円(同69.3%減)となりました。

(株)スタイリングライフ・ホールディングスでは、売上高は段階的に回復し、通信販売事業の「ライトアップショッピングクラブ」が増収となりましたが、中核の小売事業「プラザスタイルカンパニー」の店舗における臨時休業や時短営業の影響が大きく、コスト削減の徹底による費用圧縮に努めましたが減益となりました。

◇不動産・その他事業セグメント

不動産・その他事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は119億6千9百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益62億9千万円（同4.5%増）となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う赤坂Bizタワーの稼働低下により、減収となりましたが、営業時間短縮による費用抑制に努め増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は9,950億5千8百万円で、前連結会計年度末に比べて2,120億3千3百万円の増加となりました。保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が1,664億7千4百万円増加、取得により土地が295億8千8百万円増加、現金及び預金が借入や投資有価証券の売却等により180億7百万円増加したこと等によります。

(負債)

負債合計は2,651億2千2百万円で、前連結会計年度末に比べて740億2千9百万円の増加となりました。保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が521億2千万円増加、借入により長期借入金が264億円増加した一方、未払金が67億4千1百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は7,299億3千5百万円で、前連結会計年度末に比べて1,380億4百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き269億7千1百万円増加、その他有価証券評価差額金が1,134億3千1百万円増加したこと等によります。

この結果、自己資本比率は72.0%、1株当たりの純資産は4,194円44銭となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、2020年12月2日公表の予想を修正いたしました。詳細については、本日（2021年2月4日）公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	85,419	103,427
受取手形及び売掛金	41,476	42,225
有価証券	800	—
商品及び製品	8,518	8,164
番組及び仕掛品	6,176	9,001
原材料及び貯蔵品	657	675
前払費用	11,344	10,912
その他	4,512	8,378
貸倒引当金	△104	△114
流動資産合計	158,800	182,670
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	210,284	210,613
減価償却累計額	△119,055	△122,832
建物及び構築物 (純額)	91,229	87,780
機械装置及び運搬具	81,473	79,383
減価償却累計額	△71,416	△70,960
機械装置及び運搬具 (純額)	10,056	8,422
工具、器具及び備品	31,768	32,587
減価償却累計額	△29,367	△30,134
工具、器具及び備品 (純額)	2,400	2,453
土地	96,820	126,409
リース資産	4,454	3,044
減価償却累計額	△2,884	△1,549
リース資産 (純額)	1,569	1,494
建設仮勘定	8,592	7,347
有形固定資産合計	210,669	233,907
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	5,321	6,883
のれん	13,205	11,857
リース資産	5	1
その他	1,494	855
無形固定資産合計	20,027	19,598
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	379,820	546,294
長期貸付金	198	211
繰延税金資産	2,108	2,004
長期前払費用	236	167
その他	11,331	10,368
貸倒引当金	△167	△163
投資その他の資産合計	393,527	558,881
固定資産合計	624,223	812,388
資産合計	783,024	995,058

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,479	37,506
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,200
未払金	15,510	8,769
未払法人税等	9,001	13,134
未払消費税等	2,191	2,257
未払費用	1,602	1,816
賞与引当金	4,365	1,349
役員賞与引当金	80	40
その他の引当金	330	359
その他	8,259	10,618
流動負債合計	81,021	77,051
固定負債		
長期借入金	600	27,000
環境対策引当金	121	63
退職給付に係る負債	15,625	15,375
リース債務	736	580
繰延税金負債	77,342	129,462
その他	15,646	15,589
固定負債合計	110,072	188,070
負債合計	191,093	265,122
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	47,474	47,473
利益剰余金	306,150	333,122
自己株式	△3,952	△6,375
株主資本合計	404,659	429,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173,905	287,337
繰延ヘッジ損益	26	△20
為替換算調整勘定	△17	△54
退職給付に係る調整累計額	△211	△186
その他の包括利益累計額合計	173,701	287,074
非支配株主持分	13,569	13,653
純資産合計	591,931	729,935
負債純資産合計	783,024	995,058

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	269,331	238,223
売上原価	187,074	165,325
売上総利益	82,257	72,898
販売費及び一般管理費	70,697	60,727
営業利益	11,559	12,170
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	8,350	8,271
持分法による投資利益	—	915
その他	899	372
営業外収益合計	9,263	9,570
営業外費用		
支払利息	17	50
持分法による投資損失	187	—
固定資産除却損	108	116
控除対象外消費税等	56	195
その他	259	301
営業外費用合計	629	663
経常利益	20,193	21,076
特別利益		
投資有価証券売却益	289	29,739
雇用調整助成金	—	※1 777
固定資産売却益	—	149
特別利益合計	289	30,666
特別損失		
感染症拡大に伴う損失	—	※2 1,499
減損損失	134	746
投資有価証券評価損	171	157
組織再編関連費用	74	125
特別損失合計	380	2,527
税金等調整前四半期純利益	20,102	49,215
法人税、住民税及び事業税	5,249	16,432
法人税等調整額	1,593	44
法人税等合計	6,843	16,477
四半期純利益	13,259	32,737
非支配株主に帰属する四半期純利益	887	265
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,371	32,472

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	13,259	32,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,496	113,424
繰延ヘッジ損益	△1	△25
為替換算調整勘定	△9	△37
退職給付に係る調整額	△60	31
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△13
その他の包括利益合計	67,418	113,379
四半期包括利益	80,677	146,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,784	145,845
非支配株主に係る四半期包括利益	892	271

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、通販や動画配信などの巣ごもり需要の増加や費用削減による増益効果が生じたものの、企業の広告出稿が大幅に減少したことで、当社グループの活動に重要な影響が生じております。

このような環境下、2021年1月の緊急事態宣言再発出等によりイベントの開催条件の変更や店舗営業時間の短縮が生じ、また企業の広告出稿の回復が一定程度に留まる見込みであるものの、当連結会計年度の第2四半期報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

なお、当社グループは、四半期連結財務諸表作成時点で入手可能な情報に基づいて会計上の見積りを行っておりますが、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、当連結会計年度の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 雇用調整助成金

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、雇用調整助成金の特例措置の適用を受けたものであり、当該支給額を「雇用調整助成金」として特別利益に計上しております。

※2 感染症拡大に伴う損失

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの要請や声明等を踏まえ、イベントの中止、店舗営業の自粛により発生した固定費(人件費・賃借費・減価償却費)等を「感染症拡大に伴う損失」として、特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	202,629	54,276	12,425	269,331	—	269,331
セグメント間の内部売上 高又は振替高	126	2	3,922	4,052	△4,052	—
計	202,756	54,278	16,348	273,384	△4,052	269,331
セグメント利益	2,750	2,791	6,017	11,559	△0	11,559

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	184,633	41,620	11,969	238,223	—	238,223
セグメント間の内部売上 高又は振替高	215	17	3,789	4,022	△4,022	—
計	184,848	41,638	15,759	242,246	△4,022	238,223
セグメント利益	5,029	856	6,290	12,176	△6	12,170

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

㈱TBSテレビ事業収入の内訳 (第3四半期)

(単位: 百万円)

区分	前第3四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	比較		前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	136,311	122,445	△13,865	△10.2	182,083
タイム	66,085	59,460	△6,625	△10.0	87,230
スポット	58,867	48,851	△10,016	△17.0	79,275
コンテンツ	8,020	11,274	3,254	40.6	10,892
その他	3,338	2,859	△478	△14.3	4,684
事業	19,089	13,780	△5,308	△27.8	25,304
不動産	2,235	2,272	36	1.6	2,996
合計	157,635	138,497	△19,138	△12.1	210,384

(注)前第3四半期において事業部門に含まれていた配信事業にかかる収入の一部について、当事業年度の第2四半期よりテレビ部門のコンテンツ区分で集計しております。なお、前第3四半期について、当該変更による組替を行っておりません。